

(双葉寮入口)



本校の双葉寮は、基本的に1年間の義務寮ですが、感染拡大を懸念して、現在、自宅通学が困難な生徒のみ寮に残り、「寮生を少なくした寮運営」を行っています。

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言延長を受け、鹿児島県教育委員会から、五月十一日(月)の教育活動再開の通知が出されました。本校においても、感染症対策を最大限に行いながら、教育活動が再開されています。生徒職員は、マスクを着用し、「三密」を避ける行動に努めながら、学校生活を送っています。

コロナに負けるな!



6月の行事予定

- 1日(月) 服装容儀指導
- 8日(月) 統一LHR「自己理解」
- 15日(月) 統一LHR ハイパーQU
- 16日(火) 文字力テスト2
- 24日(水) 車両点検
- 25日(木) ~30日(火) 期末考査
- 29日(月) 双葉寮防災訓練(16:00~)

三年生活科の川畑晴花さんは「多くの検定試験が控える中での休業は痛手だったが、今、検定に向けて懸命に取り組んでいる。求人がどうなるのかも心配だが、自分ができることを精一杯やって就職を決めたい。」と意気込んでいました。学校には生徒たちの活気が戻りつつあります。コロナに負けないよう、これからも学校一丸となって感染予防に努めていきます。

第207号

令和2年6月1日
編集・発行
市来農芸高校広報係
いちき串木野市湊町160
Tel (0996) 36-2341
発行責任者
校長 倉岡 八郎

職員コラム

四月からこの市来農芸高校で働き始め、約一ヶ月が経ちました。校舎内では、元気な挨拶と明るい笑い声が溢れ、とても雰囲気の良い学校だと思っています。

さて、このコラムを書いて現在の、新型コロナウイルスの影響で学校は休校になっています。図書館では新入生のオリエンテーションがあり、本格的な利用が始まったところでした。

そんな中、食品加工現場にお邪魔する機会がありました。大釜で熱された大量の豚味噌缶を一缶ずつタオルで拭き、ラベルシールを貼る地道な作業でした。初めての作業でとても新鮮でしたが、この大量の加工品を、日々扱う生徒の皆さんは大変だろうなと思いました。

私が高校生だった当初、挫折を味わい鬱々と過ごしていました。楽しそうに過ごす同級生が羨ましく思えたものです。しかし、部活動に打ち込むうち、目標を見つけていくことができました。その時から、目の前の事に集中するよう心がけています。やり遂げ

農芸市場だより

6月の農芸市場は、2日、9日、16日、23日、30日(火)14:30からです。

<野菜>

・トマト 200円、ミニトマト 100円、・キュウリ 100円

<卵>

・Lサイズ 220円 ・Mサイズ 200円
・MSサイズ 150円

<加工品>・豚味噌各種 250円/缶、200円/瓶 他

<鉢花>

・ニューギニアインパチェンス 300円

<花苗類>

ハウスにて販売いたします。50円~
ニクニクソウ、ケイトウ他多数
(花苗については常時農場で販売中)

ることに大変な時もありますが、一つ一つ問題を片付けるしかありません。毎日その繰り返しです。以前読んだ人生活訓にも、書いてあったので間違いなかったのだと思いました。この市来農芸高校では、他校では経験できない事が多く、必ず皆さんの糧になります。もし、悩む事があつたら先人の知恵が詰まった本を探しに来てください。時には、皆さんが探している

答えが難しい本でなく、小説の登場人物たちが語ることもあるのです。答えが見つかる不思議な瞬間を、皆さんにも味わって欲しいと思っています。私はその手伝いができるよう努めますので、よろしくお願いします。

(図書補助員
中木場 千穂)

